

# 第9回建設トップランナーフォーラム 地域建設業の重要性発信

「1面関連」建設トップランナー倶楽部(代表幹事・米田雅子慶応大学特任教授)は8日、港区で「第9回建設トップランナーフォーラム」を開いた。今回のフォーラムのテーマは「インフラの町医者をどう育てるか」。地域建設業の役割としてこれまでのフォーラムでも扱ってきた災害対応、インフラの老朽化対策、複業化に加え、深刻化する人材不足に立ち向かう人材育成の取り組みなどを紹介した。

冒頭、主催者を代表し「とともに、人材育成とい  
て日本青年会議所の河合  
良紀建設部長は「さま  
ざまな取り組みを知るこ  
とが、地域建設業の在り  
方のヒントになるはず  
だ」とあいさつ。米田代  
表幹事は「地域建設業が  
社会にとっていかに重要  
か」ということを発信する

「東日本震災からの復  
興」とし、地域建設業の  
代表者らがそれぞれテ  
マごとに自社の取り組み  
を発表した。  
第4部は「社会インフ  
ラと人材を守る」と題し、  
地域建設業者らでつくる  
大空総合管理協同組合  
(北海道大空町)の郷右  
近英管理部長が、地域イ  
ンフラの維持管理を指定  
管理者として受託するま  
での経緯を報告。星野建  
設(長崎県島原市)の星  
野親房社長は直営施工へ  
を主体とした直営施工へ  
のこだわりと、直営施工  
の強みを雲仙普賢岳の噴  
火と東日本震災の復旧

工事に生かした背景を説  
明した。  
また、今回のフォーラ  
ムのテーマでもある「イ  
ンフラの町医者をどう育  
てるか」を主題としたパ  
ネルディスカッションも  
行った。



『町医者』をどう育てるか

(3面に記事)